

社会文教委員会

期日：令和3年3月11日午前10時
場所：第2委員会室

1 開会

2 委員長挨拶

3 請願・陳情審査

(1) 2請願第10号(継続)

ア 要旨

県に対し、「少人数学級の一日も早い実現を求める意見書」を提出願いたい

イ 請願者住所氏名

飯田市下茶屋2206番地2

少人数学級を実現する会 代表 福澤 直美

ウ 紹介議員 後藤壮一 議員、古川 仁 議員、福沢 清 議員

(2) 2請願第11号(継続)

ア 要旨

国に対し、「少人数学級の一日も早い実現を求める意見書」を提出願いたい

イ 請願者住所氏名

飯田市下茶屋2206番地2

少人数学級を実現する会 代表 福澤 直美

ウ 紹介議員 後藤壮一 議員、古川 仁 議員、福沢 清 議員

4 閉 会

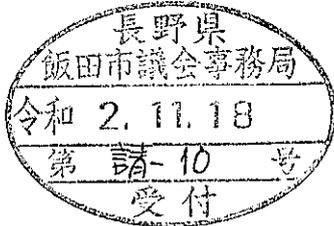
子ども一人一人を大切にする

少人数学級の日も早い実現を求める請願書

2020年11月18日

飯田市議会議長 湯沢 啓次 殿

請願者 少人数学級を実現する会代表 福澤 直美



住所 〒395-0802 飯田市鼎下茶屋 2206-2

紹介議員

後藤 壮一
志 川 仁
福 沢 清

- 請願項目
1. 新型コロナの感染を防ぎ、子どもたちがゆとりをもって学べるために、少人数学級を実現して下さい。
 2. 県に対しても、少人数学級を実現するよう意見書をあげて下さい。

< 請願理由 >

新型コロナウイルスの感染は、終息の見通しもまだたらず、第二、第三の感染の波が来ることが危惧されています。その中で再開した学校は、感染防止を万全に、と言いながら、ソーシャルディスタンスが十分にとれない35人学級のままだです。この間行われた分散登校は、ほとんどが20人以下の規模で行われ、子どもたちから「授業がよくわかる」「先生が、一人ひとりをよくみてくれる」と好評でした。20人以下の学級が本来、子どもたち一人ひとりを大切にする規模であることを改めて認識させられました。この際、子どもたちの安全を考え、健やかな成長を考えて、少人数学級を実現してください。

県にたいしても、その実現を早急にされるよう意見書を上げてください。

<県に提出する意見書 案文>

少人数学級の一日も早い実現のための意見書

新型コロナウイルスの感染は、冬に向かってますます広がりを見せており、終息の見通しもたっていません。その中で、子ども達は相変わらず学習し、給食を食べ、感染の危険にさらされています。

春の臨時休校の後行われた分散登校では、感染を防ぐためにほとんどのクラスが20人以下で行われ、子ども達から「授業がよくわかる」「先生が一人ひとりをよくみってくれる」と好評でした。先生たちからも「これが、本来子どもたち一人一人を大切に作る規模だと思った」という感想が聞かれました。それは、子ども達を新型コロナの感染から守るという事ばかりでなく、子どもたちの学ぶ力をつけ、個人として成長する力もつけることに繋がっていきます。

長野県は、全国に先駆けて35人学級を実現されましたが、引き続き20人以下学級の実現に向けて取り組み、未来を担う子ども達に少人数学級をプレゼントしてください。

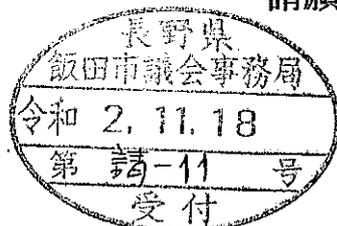
子ども一人一人を大切に

少人数学級の一日も早い実現を求める請願書

2020年11月18日

飯田市議会議長 湯沢 啓次 殿

請願者 少人数学級を実現する会代表 福澤 直美



住所 〒395-0802 飯田市鼎下茶屋 2206-2

紹介議員

後藤 莊一

志川 仁

福江 清

- 請願項目
1. 新型コロナウイルスの感染を防ぎ、子どもたちがゆとりをもって学べるために、少人数学級を実現して下さい。
 2. 国に対しても、少人数学級を実現するよう意見書をあげて下さい。

< 請願理由 >

新型コロナウイルスの感染は、終息の見通しもまだたらず、第二、第三の感染の波が来ることが危惧されています。その中で再開した学校は、感染防止を万全に、と言いながら、ソーシャルディスタンスが十分にとれない35人学級のままです。この間行われた分散登校は、ほとんどが20人以下の規模で行われ、子どもたちから「授業がよくわかる」「先生が、一人ひとりをよくみってくれる」と好評でした。20人以下の学級が本来、子どもたち一人ひとりを大切にできる規模であることを改めて認識させられました。この際、子どもたちの安全を考え、健やかな成長を考えて、少人数学級を実現してください。

国にたいしても、その実現を早急にされるよう意見書を上げてください。

<国に提出する意見書 案文>

少人数学級の一日も早い実現を求めるための意見書

新型コロナウイルスの感染は、冬にむかってますます広がりを見せており、終息の見通しもたっていません。その中で、子ども達は相変わらず40人学級のまま、毎日ソーシャルディスタンスのとれない空間で、学習し、給食を食べ、感染の危険にさらされています。

春の臨時休校の後行われた分散登校では、感染を防ぐためにほとんどのクラスが20人以下で行われ、子どもたちから「授業がよくわかる」「先生が一人ひとりをよくみてる」と好評でした。先生たちからも、「これが、本来子ども達ひとり一人を大切にできる規模だと思った」という感想が聞かれました。それは、子ども達を新型コロナの感染から守ることばかりでなく、子どもたちの学ぶ力をつけ、個人として成長していくことにも繋がることとなります。

世界的にも、日本の学級定員は断トツに多いと言われながら40年間改善されてきませんでした。コロナ禍の今こそ、少人数学級を実現し、それに伴う教員増をすることは、未来を担う子どもたちへの何よりのプレゼントです。

国の施策として、少人数学級を実現してください。